

施策番号	21
------	----

施策評価シート（評価対象年度：令和4年度）

基本政策	4	生活基盤
主要施策名	21	地域交通
5年後のまちの姿	〇道路網の整備と交通手段の確保により、誰もが行きたい所へ気軽に移動できるまちになっています。	
施策展開の基本的な考え方	行政は、市内における円滑で快適な移動を担保するため、道路交通基盤の整備や維持管理、公共交通の確保に努めます。市民等は、交通ルールやマナーを守るとともに、道路の維持管理や公共交通機関の利用に積極的に協力します。	
実現に向けた取組	①広域交通の利便性の向上 ②安全で快適な道路ネットワークの整備 ③冬期の移動を確保する除排雪の実施 ④地域公共交通の利便性の向上と持続可能性の確保	
施策担当課・係	地域整備課 管理係・都市計画建築係・土木係	
施策関係課・係	総合政策課 企画政策係、農林水産課 農林整備係	

I 施策の実施状況

1 施策全体の事業費

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	1,010,070				
事務事業数	12				
うち、事務事業評価対象	8				

2 成果指標の達成状況

指標	単位	基準値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度最終目標
市道の道路改良率	%	60.79	60.90					61.43
のれんす号の延べ利用者数〔年間〕	人	44,724	49,369					57,000

成果指標による現状分析	市道の道路改良率（道路の新設、幅員の拡幅）は0.11ポイントの微増ではあるが順調に進捗している。交通手段に関しては、のれんす号の運行により誰もが行きたいところへ気軽に移動できるよう取組を進めてきている。令和4年度ののれんす号の延べ利用者数は、コロナ感染の影響緩和や感染対策の徹底により前年度（46,620人）に比べ増加傾向にある。
-------------	---

3 施策の進捗状況

達成度	〇概ね順調
評価の理由	市道における道路改良や新設工事等は、毎年、実施しており、微増ではあるが目標の数値に近づいているため。また、交通手段に関しても延べ利用者数は順調に推移している。

4 取組の状況と今後の方向性

① 広域交通の利便性の向上

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・中条駅西口周辺整備により完成した東西自由通路や付帯施設の運営、維持管理に当たっては、学生等の日常的な駅利用者だけでなく、遠方から胎内市を訪れる観光客にも対応できるよう公共交通事業者等と連携して事業を進めます。 ・周辺市町村と連携して JR 東日本に対し、列車運行の継続・拡充を要請していきます。
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> ・利便性が高く快適な公共交通環境を提供するため、中条駅前広場及び駐車場を含め施設の一体的管理を指定管理により実施 ・中条駅自動車駐車場の精算機の入替を実施し駐車場利用の利便性向上（R04） ・毎年、県、県議会、市長会などで構成する新潟県鉄道整備促進協議会を通して、胎内市を含む沿線市町村等が JR に対し鉄道に関する要望を行っている。
主な課題と今後の対応
整備した東西自由通路・駅前広場・中条駅観光交流室について、指定管理制度を活用し効率且つ適切な管理を通して円滑な胎内市の交通結節点運営を行う。

② 安全で快適な道路ネットワークの整備

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・平時の利用状況や防災上の重要性等を考慮して市道の整備・改良・維持管理を計画的に行います。 ・国や県に対して国道・県道や橋梁の整備・改良・維持管理が適切に行われるよう働きかけていきます。
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> ・「橋梁維持事業」について、市道橋の維持管理のため、近接目視による橋梁点検を実施。点検結果を踏まえ計画的に修繕工事を実施する。点検結果による橋梁補修及び修繕工事実施状況 令和4年度1橋補修工事を実施 ・「道路維持管理事業」について、年々、道路補修等の作業が増加している。道路パトロール・各区長から寄せられた情報により速やかに補修対応を行っているが、対応が追いつかない状態である。市民の生活路でもある市道の維持管理等は、今後も重要な事業である。 ・「市道関係整備事業」について、道路の交通状況を勘案した工事、通学路の交通安全点検結果に基づく工事のほか地区要望による工事を実施している。
主な課題と今後の対応
<p>「橋梁維持事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度から令和5年度で、2巡目となり、計画及び詳細設計並びに道路橋点検を実施する。 ・令和3年度から令和5年度一橋梁点検を実施する。・令和5年度→1橋補修工事予定 <p>「道路維持管理事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週1回を目処に、市内全域の道路パトロールを実施することで、道路補修等を迅速かつ未然防止に努める。 ・道路パトロール手順書の作成を行う。 ・道路パトロール区域の選定を行う。 <p>「市道関係整備事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路の交通状況、通学路の交通安全点検結果及び地域要望等を勘案し、生活道路である市道等の安全性や利便性の向上を図るための整備を行う。また、近年の激甚化する風水害等の発生を見据えた道路冠水対策等のインフラ強化も併せて進める必要がある。

③ 冬期の移動を確保する除排雪の実施

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・除雪車による道路除雪を状況に応じ速やかに行います。 ・消雪パイプの老朽化対策および集落協働作業の支援等地域の実情に応じて取り組みます。
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> ・「除排雪事業」について、機械除雪による除雪延長約 260 km、委託業者 55 業者により実施。稼働台数の実績は延べ 1,688 台 ・市道消雪パイプの路線は、125 路線で総延長約 42 km となり、消雪戸数が 99 となっている。ノズルの老朽化により、消雪パイプ機能が果たせない路線も多く苦慮した。
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・海岸線・平野部・山間部と積雪量が異なるため、除雪出動基準の統一性が求められる。近年の異常豪雪時の対応を踏まえ、除雪マニュアルを見直していく。 ・融雪施設の老朽化により、漏水箇所が増加傾向であり対応に苦慮している。今後は、緊急性や公益性を見極めながら計画的に整備を行う。 ・大雪時の除雪体制の連携強化を図る。 ・撤退した事業者の除雪路線を他の事業者へ委託することになるが、引受事業者の除雪機械の確保が困難である。

④ 地域公共交通の利便性の向上と持続可能性の確保

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・のれんす号の利便性向上に努め、利用者の増加を図ります。 ・スクールバスによる登下校、高齢者の外出支援や介護施設への送迎その他の交通手段との連携の方策を検討します。
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットを作成し、毎年度当初に全戸配布している。 ・利用促進を目的としたポスターを作成し、市内集会所などに掲載依頼を行った。 ・広告を掲載した。(市役所一般封筒、中条大祭朝刊広告) ・更なる利用拡大のため、希望する地域のお茶の間サロンなどで、予約方法等ののれんす号の利用について説明する出前講座を開催している。令和4年度の実績は1回 ・望ましい公共交通の姿などを明らかにする、令和元年度に策定した胎内市地域公共交通網形成計画を、令和4年度に胎内市地域公共交通計画として改訂を行った。 ・令和4年度には、新型コロナウイルスワクチン接種及び期日前投票における無料送迎（利用件数：157件、42件）、付添人無料化（利用件数：172件）、グループ割の導入（利用件数：11件）、市内高校及び大学生への無料券の配布（利用件数：144件）を行った。
主な課題と今後の対応

- ・人口減少や高齢者の免許保有率上昇の中、のれんす号の利用者数を確保・維持していくためには、効率的で持続可能な運営が必要となってくる。そのことから、胎内市地域公共交通計画に基づいて、のれんす号の利便性向上や利用者の増加の取組、スクールバスとの連携など進めていくことで、地域公共交通の利便性の向上と持続可能性を確保する。
- ・引き続き、のれんす号の利便性向上の取組について検討を行っていく。
- ・今後、国からの補助金が減っていくことが想定されるため、のれんす号の運行事業者、運営事業者とともに効率化に資する取組の検討を行う。

5 施策の今後の方針

施策方針	○維持
施策方針に関する説明	<p>道路交通基盤の維持や整備に関しては、定期的な道路パトロール、橋梁点検や維持補修を実施し、良好な道路状況を維持する。</p> <p>また、冬期間については、除雪委託業者等と連携を図り、効率的な除雪作業を実施し、市民生活の安全・安心を確保する。誰もが行きたい所へ気軽に移動できるよう、のれんす号の利便性向上に取り組む。</p>

II 施策を構成する事業等

事業 コード	事務事業名	R4		R5		達成度	今後の 方向性	担当課
		事業費	うち 一般財源	当初予算額	うち 一般財源			
450110	駅前広場・駐車場管理事業	14,993	14,850	14,769	14,613	○	③	地域整備課
450210	鳥坂大橋維持管理事業	7,639	1,139	690	681	◎	③	農林水産課
450220	道路維持管理事業	39,050	38,489	158,835	27,781	○	②	地域整備課
450221	市道関係整備事業（土木係）	150,833	19,133	207,603	16,403	○	②	地域整備課
450222	橋梁維持事業	21,463	15,559	37,673	11,873	◎	③	地域整備課
450223	市道関係整備事業（管理係）	159,219	14,819	0	0	×	③	地域整備課
450310	除排雪事業	537,827	284,562	353,220	79,820	○	③	地域整備課
450411	地域公共交通活性化事業	61,000	61,000	59,500	59,500	○	①	総合政策課

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	450110		担当課	地域整備課	担当係	都市計画建築係	担当者			
事務事業名	駅前広場・駐車場管理事業			事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計		
基本政策	4	生活基盤	事業コード	大	45	地域交通	予算科目	款	08	土木費
主要施策	21	地域交通		中	01	広域交通の利便性の向上		項	04	都市計画費
				小	10	駅前広場・駐車場管理事業		目	02	街路事業費
事務区分	法定受託事務			自治事務	○	根拠法令				
	法令による義務付け			任意		関連法規		関連計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	中条駅前広場（東西広場・東西自由通路・駅前駐車場・防災広場）の維持運営管理
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・料金の請求、徴収 ・入出庫管理 ・精算機賃借、保守委託 ・冬の除雪
実施方法	指定管理

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	14,993	14,769			
国・県支出金	0	0			
地方債	0	0			
その他	143	156			
一般財源	14,850	14,613	0	0	0
人件費（千円）	1,764	0	0	0	0
正(h) ※事業費	992	0	0	0	0
※委託料	0	0	0	0	0
※任用(h) ※業務費	0	0	0	0	0
総事業費+人件費	16,757	14,769	0	0	0
財源「その他」内訳	駅前広場管理費負担金 143千円				
事業費の主な支出内容	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理委託料 12,582千円 ・自由通路管理委託費 1,056千円（EV） ・授産施設への清掃委託 466千円 ・備品購入 448千円（感染症対策） 				
単位コスト	算出方法				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	指定管理者と管理運営方法に関する定例会議の実施	指定管理者と管理運営方法に関する定例会議の実施	指定管理者と管理運営方法に関する定例会議の実施	
	目標	12回	12回	12回	
	実績	12回			
成果指標	名称	管理不備による事故発生件数	管理不備による事故発生件数	管理不備による事故発生件数	
	目標	0件	0件	0件	
	実績	0件			
	目標比	0件			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○				
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない 指定管理により駅周辺施設（西口広場・東口広場・駐輪場・駐車場・公園）を一部で管理を行うことで経費を削減し、効率的な運営とサービス向上が実現し、観光交流室を365日無休で稼働させることが可能となり、利便性の高い施設となっている。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

<p>中条駅前広場は、鉄道利用者にとって利便が高く利用率が一番高い。駐車場は公共交通機関の利用促進や駅周辺の利便性向上に寄与していると思われ、駐車場の整備は一定の効果をもたらしている。</p> <p>また、平成31年に西口広場、東西自由通路の竣工により広場利用者が分散し、朝・夕の送迎混雑が解消された。平成31年度より指定管理制度を試行導入し管理運営を行っている。以降指定管理者により、イベントの開催や駅ピアノの管理、西口公園における夏季水遊び広場及び冬季雪山広場の運営等、地域に寄り添った運営を行っている。</p>
--

6 協働の状況

協働の状況	実施・検討中
具体的な状況	広場の清掃（ゴミ拾い）を授産施設に委託し実施

7 事業の課題

<p>年中無休で朝7時から19時まで観光交流室の運営を行うには、人を配置する必要があるためその経費が運営費の2/3を占めているため、より効率的な運営方法やその必要性を検証する必要がある。また、指定管理料に頼らずとも持続可能な運営体制を確立するためには、収益事業の展開による運営費の確保が必要となることから、その可能性について指定管理者と共に検討を行う必要がある。</p> <p>現在のコロナ禍においては生活様式が一変し、公共交通の利用形態も変化があり、予定収益が大幅に減収している現状もあるため時代のニーズにあった取り組みが行える体制を築く必要がある。</p>
--

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③				
自主事業の可能性を検証し、条件整理の他実行可能性の高い取り組みについては、予算を確保し追加整備等を実施する。					
指定管理の評価において検討されている項目 <ul style="list-style-type: none"> ・胎内をPRする代表的な施設となるよう観光交流室の運営を行う ・東口駅前広場において、駐車場の追加整備をしたうえで、小売店としての機能を強化する ・施設内における、有料広告の設置 ・シェアサイクル、電動キックボード等の取り扱い ・広場内レンタルスペースの設置 ・広場空き地に物販店を新規建築（市から土地を無償借地） 					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性 成果の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	④
	縮小	⑥	④	⑤
	休廃止	⑦	⑤	⑥
	削減	⑧	⑥	⑦
コスト投入の方向性				
	削減	維持	拡大	

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	450210		担当課	農林水産課		担当係	農林整備係		担当者	
事務事業名	鳥坂大橋維持管理事業		事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計			
基本政策	4	生活基盤	事業コード	大	45	地域交通	予算科目	款	06	農林水産業費
主要施策	21	地域交通		中	02	安全で快適な道路ネットワークの整備		項	01	農業費
				小	10	鳥坂大橋維持管理事業		目	09	農地費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令					
	法令による義務付け		任意		関連例規			関連計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	鳥坂大橋の維持管理を行い、機能と安全を確保する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 排水路清掃業務委託 電気料
実施方法	市が直接実施＋委託

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	7,639	690			
国・県支出金	6,500	0			
地方債	0	0			
その他	0	9			
一般財源	1,139	681	0	0	0
人件費（千円）	19	0	0	0	0
正(h) ※事業費	10	0	0	0	0
※委託料	0	0	0	0	0
※任用(h) ※事業費	0	0	0	0	0
総事業費＋人件費	7,658	690	0	0	0
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容	鳥坂大橋照明柱塗装工事 1,067千円 鳥坂大橋点検委託料 6,535千円（令和3年度からの繰越分）				
単位コスト	算出方法				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績					

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	清掃・修繕件数	清掃・修繕件数	清掃・修繕件数	
	目標	0件	1件	1件	
	実績	0件			
成果指標	名称	維持管理の実施率	維持管理の実施率	維持管理の実施率	
	目標	0件	1件	1件	
	実績	100%			
	目標比	100%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎				
評価の理由	パトロール等の実施により、橋梁の機能と安全は確保できた。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

[R4年度]	経年劣化が進行しつつある照明柱について予防保全対策として再塗装を施工し次期更新時期延長を図る。
--------	---

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	橋梁の維持管理事業である。

7 事業の課題

課題	平成3年竣工から31年経過し、本事業は日常的な維持管理から継続的な機能確保に重点を置いた維持管理が必要となり、事業規模も大きくなっていくと想定されます。については日常的及び継続的な機能確保について国費等の活用による財源確保も含んだ維持管理について検討していく必要があると考えます。
----	--

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③				
鳥坂大橋の機能を維持し、安全を確保するために今後もパトロールや定期的な橋梁点検により維持管理を継続することが必要である。また、現行基準では橋脚の耐震性能不足もあることから、今後路線及び添架物の重要性を踏まえ、対策方法などを決定する必要がある。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	成果の方向性	④	②	①
	拡充	◎	◎	◎
	維持	◎	◎	◎
	縮小	◎	◎	◎
	休廃止	◎	◎	◎
削減	◎	◎	◎	
縮小	◎	◎	◎	
維持	◎	◎	◎	
拡大	◎	◎	◎	
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	450220		担当課	地域整備課	担当係	管理係	担当者	
事務事業名	道路維持管理事業		事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計	
基本政策	4	生活基盤	事業コード	大 45	地域交通	予算科目	款 08	土木費
主要施策	21	地域交通		中 02	安全で快適な道路ネットワークの整備		項 02	道路橋梁費
				小 20	道路維持管理事業		目 02	道路維持費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令	道路法		
	法令による義務付け		義務		関連例規	関連計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市道の不具合を、道路パトロールによる発見や地区区長・住民からの連絡を受けた際、現場確認・応急処置を行い業者等による補修を行う。
主な実施内容	市道の維持管理 <ul style="list-style-type: none"> 補修用常温混合物を使用しての応急処置 舗装・補修工事 道路排水施設補修・改修工事 区画線修繕 路肩除草作業
実施方法	市が直接実施＋委託

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	39,050	158,835			
国・県支出金	0	0			
地方債	0	111,900			
その他	561	19,154			
一般財源	38,489	27,781	0	0	0
人件費（千円）	0	0	0	0	0
正(h) ※事業費	0	0	0	0	0
※委託料	0	0	0	0	0
※任用料	0	0	0	0	0
○	5,124	0	0	0	0
総事業費＋人件費	39,050	158,835	0	0	0
財源「その他」内訳	雇用保険料個人負担金 30千円、自動車損害共済金 531千円				
事業費の主な支出内容	<ul style="list-style-type: none"> 道路補修工事費 7,586千円 修繕費 3,885千円 				
単位コスト	算出方法				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	道路等修理箇所数 ①補修 ②修繕	道路等修理箇所数 ①補修 ②修繕	道路等修理箇所数 ①補修 ②修繕		
	目標	①120件 ②40件	①120件 ②40件	①120件 ②40件		
	実績	①.90件 ②.27件				
成果指標	名称	道路維持に関する苦情等の初期対応率	道路維持に関する苦情等の初期対応率	道路維持に関する苦情等の初期対応率		
	目標	99%	99%	99%		
	実績	95%				
	目標比	95.9%				

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○				
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	道路パトロールでは発見できない修繕箇所について、区長はじめとする住民からの連絡等により、早急に補修を行うことで、通行の安全が確保できている。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

道路パトロールや地区からの要望を基に「舗装修繕計画」を策定し、計画的に適切な処置を行うことで、道路舗装の長寿命化や維持管理費の縮減を図る。

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	道路損傷や路肩の崩れなどの通報。

7 事業の課題

<ul style="list-style-type: none"> 道路の老朽化に関連する地区からの要望等が年々増加しており、経費削減を考慮したうえで簡易的に補修できる箇所に関しては、可能な限り職員が対応しているが、応急処置だけでは通行の安全性を確保することが難しい箇所が増えている。 除草機等の購入、外部委託や夏休み期間中の技能員の作業協力を含め、効率的な作業の実施を検討する必要がある。 道路の老朽化が進んでいる現状を踏まえ、有効な補助金等を活用し、整備を促進していく。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	②				
職員では対応できない補修を必要とする箇所が増えているため補修計画（優先順位等）を作成し計画的に工事を行う。					
担当課の職員だけではなく、全職員から連絡してもらえるよう通報体制を強化する。					
除草機等の購入、外部委託や夏休み期間中の技能員の作業協力を含め、効率的な作業の実施を検討する必要がある。					
道路の老朽化が進んでいる現状を踏まえ、有効な補助金等を活用し、整備を促進していく。					

9 二次評価委員会所見

	今後の方向性				
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
	削減	×	縮小	維持	拡大
	コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	450221		担当課	地域整備課	担当係	土木係	担当者			
事務事業名	市道関係整備事業（土木係）			事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計		
基本政策	4	生活基盤	事業コード	大	45	地域交通	予算科目	款	08	土木費
主要施策	21	地域交通		中	02	安全で快適な道路ネットワークの整備		項	02	道路橋梁費
				小	21	市道関係整備事業（土木係）		目	03	道路新設改良費
事務区分	法定受託事務			自治事務		○	根拠法令	道路法		
	法令による義務付け			任意			関連法規			
							関連計画			

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	道路の交通状況、通学路の交通安全点検結果、防災・減災及び地域要望等を勘案し、生活道路である市道等の安全性や利便性の向上を図るための整備を行う。	
主な実施内容	道路事業測量設計等委託	5件
	道路事業用地購入	4,861.79㎡
	道路改良工事	7路線 L=600.5m
	側溝新設改良工事	5路線 L=570.3m
実施方法	市が直接実施＋委託	

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	150,833	207,603			
国・県支出金	25,600	34,800			
地方債	106,100	156,400			
その他	0	0			
一般財源	19,133	16,403	0	0	0
人件費（千円）	11,238	0	0	0	0
正(h) ※事業費	6,103	0	0	0	0
※委託料	0	0	0	0	0
※任用(h) ※委託料	0	0	0	0	0
総事業費＋人件費	162,071	207,603	0	0	0
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容	<ul style="list-style-type: none"> 道路改良工事費 82,318千円 側溝新設改良工事費 51,823千円 道路事業測量設計等委託 9,676千円 				
単位コスト					
算出方法					
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	当該年度に実施した工事箇所数	当該年度に実施した工事箇所数	当該年度に実施した工事箇所数	
	目標	12箇所	12箇所	12箇所	
	実績	15箇所			
成果指標	名称	地区要望箇所数に対する工事着手箇所数	地区要望箇所数に対する工事着手箇所数	地区要望箇所数に対する工事着手箇所数	
	目標	50%	50%	50%	
	実績	43.5%			
	目標比	87%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○				
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	道路の交通状況及び通学路交通安全点検結果に基づく市道整備については課題があるが、地区要望を勘案した工事は一定程度の進捗が見られるため記載の達成度とした。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

（本事業以外の）既存道路設備の老朽化に伴う大規模な更新費用（維持管理費用）も必要であり、（他の事業である）スマートIC整備事業に多額の費用を要したことから、本事業のコストの縮減に努めた上で、限られた財源を有効利用するため、緊急性や公益性を勘案しながら、道路の交通状況や通学路交通安全点検結果及び市民の意向を十分に把握し、地域の要望に応じてきた。

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	地区要望に基づく工事については、その整備方法を地区と相談の上検討し、合意が得られた内容で実施している。

7 事業の課題

これまで、地区要望を勘案した市道の整備を進めてきたが、今後は道路の機能を確保するための整備や通学路の交通安全を確保するための整備も併せて進める必要がある。また、近年の激甚化する風水害等の発生を見据えた道路冠水対策等のインフラ強化も併せて進める必要がある。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	②				
道路の交通確保、通学路交通安全対策や生活環境改善など地域の実情に根差した市道整備として今後も継続して本事業を進めていく。					
洪水等の自然災害から人命・財産の被害の防止や最小化するための道路冠水対策等を進めていく。					
事業費確保のため、補助金等の特定財源を活用し事業を進めていくとともに、引き続き国県への要望を行う。					

9 二次評価委員会所見

二次評価委員会所見	
-----------	--

今後の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	④
	縮小	⑥	④	⑤
	休廃止	⑦	⑤	⑥
	削減	⑧	⑥	⑦
	縮小	⑨	⑦	⑧
	維持	⑩	⑧	⑨
	拡大	⑪	⑨	⑩
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	450222		担当課	地域整備課		担当係	管理係		担当者	
事務事業名	橋梁維持事業		事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計			
基本政策	4	生活基盤	事業コード	大	45	地域交通	予算科目	款	08	土木費
主要施策	21	地域交通		中	02	安全で快適な道路ネットワークの整備		項	02	道路橋梁費
				小	22	橋梁維持事業		目	04	橋梁維持費
事務区分	法定受託事務			自治事務		〇	根拠法令	道路法		
	法令による義務付け			義務			関連法規		関連計画	橋梁長寿命化修繕計画

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	橋梁点検を定期的に行い、損傷した箇所を補修し、その機能と安全を確保する。
主な実施内容	市道橋の維持管理 ・橋梁点検 94橋 ・橋梁修繕工事 1橋
実施方法	市が直接実施＋委託

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	21,463	37,673			
国・県支出金	4,504	16,500			
地方債	1,400	9,300			
その他	0	0			
一般財源	15,559	11,873	0	0	0
人件費（千円）	1,410	0	0	0	0
正(h) ※事業費	761	0	0	0	0
※委託料	0	0	0	0	0
※人件費	0	0	0	0	0
総事業費＋人件費	22,873	37,673	0	0	0
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容	<ul style="list-style-type: none"> 委託料 10,395千円 補修工事費 9,822千円 				
単位コスト	算出方法				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	橋梁数	橋梁数	橋梁数	
	目標	290本	290本	290本	
	実績	287本			
成果指標	名称	年次点検橋梁数	年次点検橋梁数	橋梁修繕計画策定年	
	目標	96本	68本	-	
	実績	94本			
	目標比	100%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎				
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	近接目視による年次点検橋梁数については、当初目標値を96本としていたが、精査の結果、94本となり年次計画により計画通りに実施されている。橋梁修繕については詳細設計を実施しており、今後の橋梁の効率的な維持及び修繕が図れるため記載の達成度とした。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

平成26年7月の道路法改正に伴い橋梁の点検方法が見直され、5年に1度の近接目視による点検が義務付けられ、平成30年度までに1巡目の全市道橋の点検を完了した。令和2年度より2巡目の点検を実施した。
この点検結果により、橋梁の健全度を国基準で判定し修繕計画の作成を行い、国の補助を受けて修繕を実施している。

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	専門知識を有する事業のため。

7 事業の課題

・全体的に橋梁の老朽化が進んでいることに加え、近年の豪雨災害を受けて、その損傷範囲等は拡大しているおそれがある。毎年橋梁点検及び修繕を行っているが、財政状況等によりその修繕箇所は限られているため、今後、修繕計画を策定し、継続的に取組む必要がある。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③				
	<ul style="list-style-type: none"> 2巡目の法令点検と、令和元年度に策定した「橋梁長寿命化修繕計画」に沿って修繕を実施し、市民の安全な交通を確保していく。 引き続き国県へ補助金などに関する要望を行う。 老朽化が進み災害で被害を受けた橋梁について、補助金等を有効に活用し、復旧工事を進める。 				

9 二次評価委員会所見

今後の方向性		拡充	④	②	①
		維持	⑤	③	④
成果の方向性	縮小	⑥	⑦	⑧	⑨
	休廃止	⑦	⑧	⑨	⑩
	削減	⑧	⑨	⑩	⑪
		縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	450223		担当課	地域整備課		担当係	管理係		担当者				
事務事業名	市道関係整備事業（管理係）			事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計					
基本政策	4	生活基盤		事業コード	大	45	地域交通		予算科目	款	08	土木費	
主要施策	21	地域交通			中	02	安全で快適な道路ネットワークの整備			項	02	道路橋梁費	
					小	23	市道関係整備事業（管理係）			目	03	道路新設改良費	
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令	道路法							
	法令による義務付け		任意		関連例規			関連計画					

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市民が安全に通ることができるよう道路環境を整備する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 道路改良工事1箇所 舗装補修工事3箇所 道路融雪施設入替工事5箇所
実施方法	市が直接実施＋委託

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	159,219	0			
国・県支出金	48,600	0			
地方債	95,800	0			
その他	0	0			
一般財源	14,819	0	0	0	0
人件費（千円）	17,852	0	0	0	0
正(h) ※事業費	10,484	0	0	0	0
※任用(h) ※事業費	0	0	0	0	0
総事業費＋人件費	177,071	0	0	0	0
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容	<ul style="list-style-type: none"> 道路改良工事 13,233千円 舗装補修工事 55,640千円 道路融雪施設打替工事 81,508千円 				
単位コスト	算出方法				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
産出指標	名称	当該年度に実施した工事箇所数	当該年度に実施した工事箇所数	当該年度に実施した工事箇所数		
	目標	6箇所	6箇所	6箇所		
	実績	9箇所				
成果指標	名称	地区要望箇所数に対する工事着手箇所数（工事費130万円以上のもの）	地区要望箇所数に対する工事着手箇所数（工事費130万円以上のもの）	地区要望箇所数に対する工事着手箇所数		
	目標	50%	50%	50%		
	実績	19.1%				
	目標比	38.2%				

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	×				
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	地区要望箇所が多い中で緊急度、危険性を考慮して整備を行っているが、予算の範囲内で施工しなければならないことから、工事着手箇所数が伸びず、成果指標が目標に対して低いため記載の達成度とした。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

【R4】	<ul style="list-style-type: none"> 道路改良工事 1箇所 村松浜幹線・村松浜14号線 舗装補修工事 3箇所 西条・高畑・笹口浜線（宮瀬・鴻ノ巣地区）、西条・高畑・笹口浜線（笹口浜地区）、波石夏井線 融雪施設工事 5箇所 彦五郎線（その1・その2）、表町・西本町線、東本町・若松町線、東本町・北本町・本郷町線
------	---

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	道路管理者が維持管理しているため。

7 事業の課題

<ul style="list-style-type: none"> 予算の確保や道路パトロールによるコスト削減 近年の激甚化する自然災害（風水害）に対応した対策（地下浸透樹の設置や倒木により通行に支障を来すおそれのある樹木の伐採）を講じること。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③				
限られた財源を有効活用するため、道路施設の老朽化を考慮しながら、市民の意向を十分に把握し、予防保全での管理を行いコスト削減に努める。					
引き続き国県へ補助金などに関する要望を行う。					
安全安心な道路交通を確保するため、補助金等を活用し、整備を促進する。なお、令和5年度以降は本事業を道路維持管理事業（450220）に統合し効率的な事業遂行に努める。					

9 二次評価委員会所見

	今後の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①	
	維持	⑤	③		
	縮小	⑥			
	休廃止	⑦			
	削減	縮小	維持	拡大	
	コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	450310		担当課	地域整備課		担当係	管理係		担当者	
事務事業名	除排雪事業		事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計			
基本政策	4	生活基盤	事業コード	大	45	地域交通	予算科目	款	08	土木費
主要施策	21	地域交通		中	03	冬期の移動を確保する除排雪の実施		項	02	道路橋梁費
				小	10	除排雪事業		目	02	道路維持費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令	道路法				
	法令による義務付け		義務		関連法規			関連計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	胎内市道路除雪計画を策定し、その計画に基づき除雪作業を実施し、降雪時における道路交通を確保する。
主な実施内容	冬季間の降雪時における道路除雪による道路交通の確保。
実施方法	市が直接実施＋委託

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○				
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない 豪雪時に除雪作業が遅れ、交通に支障を来すことがあったが長期間の通行止めもなく概ね適切に対応できている。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

除雪マニュアルを作成したことにより、出勤態勢の明確化や職員による除雪パトロール時における除雪要請等判断が一定となりつつある。
--

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	537,827	353,220			
国・県支出金	222,964	203,300			
地方債	30,000	70,100			
その他	301	0			
一般財源	284,562	79,820	0	0	0
人件費（千円）	9,269	0	0	0	0
正(h) ※事業費	5,939	0	0	0	0
※事業費	0	0	0	0	0
※事業費	0	0	0	0	0
総事業費＋人件費	547,096	353,220	0	0	0
財源「その他」内訳	鉄屑売払収入 301千円				
事業費の主な支出内容	<ul style="list-style-type: none"> 除排雪委託料 361,167千円 光熱水費 20,995千円 消雪施設補修工事費 15,972千円 除雪ホイールローダ 24,200千円 歩道除雪機 3,080千円 				
算出方法					
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度

6 協働の状況

協働の状況	実施・検討中
具体的な状況	実施：雪置き場の状況確認 検討中：消雪パイプ施設の自動と手動の切替え委託

7 事業の課題

<ul style="list-style-type: none"> 大雪時の除雪体制の連携強化を図る。 除雪オペレータの高齢化に伴い、除雪事業から撤退する事業者が増えている。 撤退した事業者の除雪路線を他の事業者へ委託することとなるが、引受事業者の除雪機械の確保が困難である。また、償れない路線のため、除雪作業の遅れや構造物の損傷等が懸念される。 市所有の除雪車両の修繕費が老朽化の影響で修繕費用が増加している。 年々雪置き場の数が減少してきており雪置き場の確保が難しくなっている。

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	①機械除雪延長 ②消雪パイプ延長	①機械除雪延長 ②消雪パイプ延長	①機械除雪延長 ②消雪パイプ延長		
	目標	①257.4km ②41km	①257.4km ②41km	①257.4km ②41km		
	実績	①259.9km②42.1km				
成果指標	名称	市道路除雪計画に基づく除雪完了率	市道路除雪計画に基づく除雪完了率	市道路除雪計画に基づく除雪完了率		
	目標	100%	100%	100%		
	実績	100%				
	目標比	100%				

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③				
<ul style="list-style-type: none"> 除雪の状況や地域の意見を反映させ、除雪マニュアルの見直しを随時行う。 降雪前に区長、除雪事業者と市で協議し、できるだけ多くの雪置場の確保に努める。 老朽化している除雪車両を計画的に更新する。 除雪オペレータの減少対策として、除雪機械の1人乗り化（ワンオペ）の実施に向けて協議を進める。 除雪車にGPSを取付け、位置情報をリアルタイムで確認し、除雪作業の遅れ等の苦情に対応する。 					

9 二次評価委員会所見

	今後の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①	
	維持	⑤	③		
	縮小	⑥			
	休廃止	⑦			
	削減	縮小	維持	拡大	
	コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	450411		担当課	総合政策課		担当係	企画政策係		担当者				
事務事業名	地域公共交通活性化事業			事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計					
基本政策	4	生活基盤		事業コード	大	45	地域交通		予算科目	款	02	総務費	
主要施策	21	地域交通			中	04	地域公共交通の利便性の向上と持続可能性の確保			項	01	総務管理費	
					小	11	地域公共交通活性化事業			目	06	企画費	
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令								
	法令による義務付け		任意		関連法規				関連計画	胎内市地域公共交通網形成計画			

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	デマンドタクシーを中心とした公共交通ネットワークを整備し、多様な人々の移動と交流を支援する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 地域公共交通協議会への負担金の交付 地域公共交通協議会においてデマンドタクシーの運行業務の実施
実施方法	市が直接実施＋補助・負担

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	61,000	59,500			
国・県支出金	0	0			
地方債	0	0			
その他	0	0			
一般財源	61,000	59,500	0	0	0
人件費（千円）	1,498	0	0	0	0
正(h) ※事業費	800	0	0	0	0
※事業費	0	0	0	0	0
※事業費	0	0	0	0	0
総事業費＋人件費	62,498	59,500	0	0	0
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容	地域公共交通協議会負担金 61,000千円				
算出方法	負担金／デマンドタクシー延べ利用者数〔年間〕（千円）				
実績	1.2				

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	デマンドタクシー1日平均運行回数	デマンドタクシー1日平均運行回数	デマンドタクシー1日平均運行回数	
	目標	36回	36回	36回	
	実績	36回			
成果指標	名称	デマンドタクシー1日平均利用者数	デマンドタクシー1日平均利用者数	デマンドタクシー1日平均利用者数	
	目標	150人	150人	150人	
	実績	137人			
	目標比	91.3%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○				
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない 延べ利用者数は、コロナ禍前の水準には届かないものの、令和2年度を底に連増しており、前年度より2,749人多い49,369人（前年度比5.9%増）の利用があった。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

<ul style="list-style-type: none"> デマンドタクシーのパンフレットを全戸配布 利用促進を目的としたポスター作成・掲示（市内集会所、公共施設、医療機関、商店等） 地域のお茶の間サロンにおいて利用方法を説明する出前講座の実施（R4開催数：1回） 新型コロナウイルスワクチン接種及び期日前投票における無料送迎（R4ワクチン接種利用件数：157件、R4期日前投票利用件数：42件） 利用に不安を抱えている方の利用を促進するため、付添人無料化及びグループ割導入（R4付添人無料化利用件数：172件、R4グループ割利用件数：11件） 市内高校及び大学の全学生に無料券を配付（R4利用件数：144件）
--

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	中条タクシーに運営を委託し、胎内市ハイヤー・タクシー協会に運行を委託している。

7 事業の課題

<ul style="list-style-type: none"> 利用者の高齢化や身体状況等の変化により「のれんす号」の乗車が困難となった方への対応 利用方法の周知、利便性の向上による利用者数減少への対策 高齢者の免許返納とその後の「のれんす号」利用への円滑な移行

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	①				
人口減少や高齢者の免許保有率が上昇している現状において、利用者数を確保・維持し、効率的で持続可能な運営を行うため、令和4年度に策定した地域公共交通計画に基づき利用者ニーズに合った施策を推進するとともに、運賃確保及び経費圧縮により収支改善を図っていく。運行事業者、運営事業者及び協議会で「のれんす号」利用者の声や課題を常に共有し、利用者の満足度向上に努めていく。 近年、利用者が減少している状況が見受けられる。高齢者の免許返納と連携しつつ、免許を返納しても安心して日常生活を送ることができる公共交通となるように取り組んでいく。 身体状況等の変化により「のれんす号」の利用が困難となった方への対応として、福祉部門との連携を図りつつ、WEBによる予約方法や車両の位置情報の提供など、利用者の多様化に対応可能な利用環境を整備していく。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	
--------	--

今後の方向性		④	②	①
成果の方向性	拡充	×	×	×
	維持	×	×	×
	縮小	×	×	×
	休廃止	⑦	×	×
コスト投入の方向性	削減	×	×	×
	縮小	×	×	×
		維持	×	×
		拡大	×	×